

# 豊潤の里 だより

## 本郷処分場 設置許可取り消し!!

～ 本郷処分場建設ストップ運動に学ぶ ～



7月4日午後広島地方裁判所第302法廷に、私はいた。法廷は、大勢の原告関係者とマスコミがぎっしり詰めていた。この日三原市本郷町の最終処分場を巡る行政訴訟で、広島地裁は広島県の設置許可処分を取り消す判決を言い渡した。

吉岡裁判長が「…これを却下します。以上」といわれ退廷しかけたとき、何がどうなったのか理解できなかつた。「勝訴じゃ!!勝訴じゃ!!」の一人の声で、すべてが飲み込めた。その後、原告団や関係者から歓声の音が上がり、みんなで喜びを分かち合った。

その後、弁護士会館に移動し報告集会が開かれた。原告団の山内共同代表は、

「生活を投げうって3年間闘ってきた弁護団や越智先生をはじめ原告団約600人のみんなの思いが通じた」「毎朝ゴミを満載した30tトラックが家の前を通っていくのを見るのは辛い」「水質汚染はどんどん広がっている。無関心な人も多い中、みんなの問題として関心をもってほしい。今後も闘い続けていく」

とあいさつされた。山田弁護士は、岡田共同代表が弁護の依頼にきた時、お金の問題、人材力(住民運動のまとめり)の問題、さらにはこれから長い間続く辛い活動への覚悟を問うたことについて語られた。そして世の中を変えるエネルギー源は、理不尽なこと(今回は地域を壊し続ける処分場に県が許可を出す事など)への「怒り」を結集することの大切さについて語られた。

今回注目すべきは吉岡裁判長の判決理由、「知事の調査や審査の過程には、看過しがたい過誤、欠落がある」と判断した点である。具体的には、JAB共同組合(東京の民間企業)の実施した「生活環境調査」について、次のような問題点を指摘した。

- ① 処分場の最も近くの民家にある井戸の調査を実施していない。  
(航空写真には井戸のある家が近くにあるのに存在しないことにしている)
- ② 水質調査についても、農業用水などの取水地点を調査地点にしていない。  
(遠く700m下流で調査を実施している)

これらのことを踏まえ、広島地裁は廃棄物処理法が求める「周辺住民への生活環境の保全についての適正な配慮」がなされていないと判断した。

しかし許可取り消しの判決は即処分場操業ストップにはつながらない。その後県は控訴し、この企業は毎日、30tトラックのゴミを全国から搬入し埋め立て続けている。

理不尽な話である。「命の水を守る」運動をこれからも注視し、共闘していきたい。

# 4年ぶり開催 第6回木谷福寿の会



コロナ禍で3年間中止であった木谷自治協主催の「福寿の会」が9月10日に開催されました。「福寿の会」は家族や地域を長年支えていただいたことに感謝し、長寿をお祝いする催しです。木谷小1・2年生が描いたおじいちゃんとおばあちゃんの似顔絵もニコニコ顔で招待された人たちを迎えました。参加人数は60名で開催時間も少し短めでしたが、舞台上で演じる人も裏方でお世話をする人も心をこめておもてなしをしました。



蛟龍太鼓（木谷小5・6年生）

平成19（2007）年に発足した蛟龍太鼓。伝統を引き継いだ17代目「炎龍」による力のこもった演奏に大きな拍手が送られました。



作文発表“私のおじいちゃん・おばあちゃん”（木谷小3・4年生）  
優しくて頼りがいのあるおじいちゃんとおばあちゃんがみんな大好きです。



リズム（木谷保育所 青組）

力強いパフォーマンスで、おじいちゃんとおばあちゃんに元気を届けました。

## ご来賓（ご臨席ありがとうございました）

高垣 廣徳 様	東広島市長
宮川 誠子 様	東広島市議会議員
岩崎 和仁 様	東広島市議会議員
上岡 裕明 様	東広島市議会議員
天神山 勝浩 様	東広島市役所安芸津支所長
延藤 宏 様	社会福祉協議会安芸津支所長
行友 大介 様	東広島警察署安芸津交番所長
中谷 浩子 様	木谷小学校長
銭谷 美加 様	木谷保育所長



いきいき体操東広島（はつらつ会）

そろいのユニフォームで呼吸もぴったり。会場も一緒になり体操でリラックス。



手品（おたのしみ会）

種も仕掛けもありますが、一生懸命考えてもわからないから楽しいのかも。



みんなで合唱（みんなで歌おう会）

5人のおじさんたちが前に立ち、会場のみなさんと一緒に「ふるさと」と「それ行けカープ」の大合唱。

当日の「福寿の会」は、出演者の皆様と大勢のボランティアの皆様に支えられ開催することができました。改めてご協力に感謝申し上げます。

## 講演会「太平洋戦争と安芸津町誕生」



安芸津町の誕生と太平洋戦争には深い関係があったことをご存じでしょうか。7月23日、安芸津町誕生80周年を記念して講演会が開かれました。講師は町史編纂委員も務められた二宮康成さんで、孫に伝えるつもりでまとめたとお話されました。日本は開戦から半年余りで劣勢に。兵站（へいたん）を担う商船の不足を補うため、昭和17年10月三津湾への大型造船所（三井造船）の設置が決定。この事業への協力は当時の三津町だけでは困難と、隣接する早田原村、木谷村も合わせ、昭和18年1月1日安芸津町が発足。しかし資材と人手の不足により作業は遅延。全体が完成する前に造船を開始するも1隻が進水した後に終戦。今でも安芸津中学校や新来島広島どっく、干拓地など当時の名残が数多く現存しています。

## 4年ぶりの「ふれあい夏まつり」に参加



8月19日、「あきつ ふれあい夏まつり」がB&G海洋センター多目的広場で開かれました（主催：ふれあい夏まつり実行委員会・あきつの福祉をすすめる会）。4年ぶりの開催とあって4,000名余り（主催者発表）が集まり、ステージ上の演目や露店での飲食を楽しみました。木谷地域からは木谷小5・6年生が蛟龍太鼓を演奏、出店では木谷小PTA

が「スーパーボールすくい」、木谷地区社協蛟龍の郷サロンが「炊き込みご飯」、赤崎サロンが「赤崎じゃがいもだんご」を調理・販売し、夏まつりを盛り上げました。

# 水鉄砲を作って遊ぶ～放課後子ども教室～



放課後子ども教室で水鉄砲遊びをしました。放課後子ども教室のスタッフが材料の竹を準備。9月7日「学生協働支援隊」の学生など5名とスタッフが、子どもたちと一緒に昔懐かしい水鉄砲を作りました（左の写真）。14日にはそれを使い学生たちの指導により班別で対抗戦を行いました（右の写真）。大変盛り上がりました。

## 部会活動紹介

### 福祉生活部会



8/5 「水分と塩分を補給して熱中症を予防しよう」—— 区長さんが家庭訪問

猛暑が続くこの夏、各区長さんが担当地区の高齢者300名余りに、様子伺いも兼ね熱中症予防の啓発のチラシと共に塩分チャージのお菓子とペットボトル入りのお茶を届けました。

<自治協・区長・木谷地区社協 蛟龍>

### 次世代部会



8/16 アカテガニの産卵とウミホタルの観察会

8月の大潮の頃の夜に海で産卵するアカテガニと暗闇で神秘的な光を出すウミホタルの観察会に、保護者を含む25名が参加しました（講師：古本敦子さん）。昨年までは産卵のために陸と海を往来する大量のアカテガニをみることができましたが、今年は特に少なく感じました。

<木谷はっけん野あそび会>

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口（男女計）	男	女
令和5年8月末現在	687	1432	702	730
令和4年8月末との比較	+5	-33	-18	-15